1地域の代表が結集

トアップ交流会 開催

見交換が行われました。 かきボランティアが主人公の 力を高めて普及を図る』、『雪 える』や『この事業のブランド ク保有していざという時に備 果『広域で除雪用具をストッ ラマづくり』など、活発な意

今年にかける意気込みなどを紹介します。

次号は、スター

トアップ交流会報告の第二弾として、

11

地域代表者の

域代表者の声を紹介予定

11

トアップ交流会」が9・ 調査に取り組 1開催 11

れた全国1地域の代表者が集まった「スタートアップ交流会(以 のための克雪体制支援調査業務(以下「克雪調査」)という」に選定さ 交流会」という)」が、9月1日(月)に東京で開催されました。 土交通省が進める、「平成 26 年度 雪処理の担い 手の確保・ 育成

第2号 <発行日> 2014年9月16日 く発行者>

(株)日本能率協 会総合研究所

調査 **〈瓦版〉** 克雪体制支援

<監修> 国土交通省 国土政策局 地方振興課

雪道具のストック

ンター長、鳥取大学の筒井准教授の4人の専門家から、

今年の活動

.対してアドバイスを頂きました。

の上村教授、中越防災安全推進機構地域防災カセンターの諸橋セ

交流会の前半では、東北工業大学の沼野教授、長岡技術科学大学

て専門家からアドバイス

今年の取り組みに対し

持続・発展させるには?」「他効果を出すには?」「活動を は?」という3つのテーマにつ 地域に普及・波及させるに いて話し合いました。その結 (WS)を行い、「団体間の相 心」「事業のブランド化 各地域からの取組紹介の様子

全員によるワークショップ

交流会の後半では、参加

:加者全員によるワークショップの様子

この事業を支えてくれる、頼もしい先生方



広げよう「助け合い除雪!」

克雪調査の取組内容を紹介するブログを開設しました。11地域の取組の案内 や活動報告などを紹介していく予定です。この機会にぜひご覧下さい。

★URL★





http://snow-innovation.net